

『作品賞』を 表彰しました

代表取締役社長 清水伸

毎年12月の創業記念日に博進堂の企業理念（「未来へつながら美しい作品づくりを追求します」）を形にし、モデルとなる作品を選定しております。プリントメディアは本になり、後世へ伝えたい、残したいという内容、造形になって初めて未来へ語り継がれる作品となります。作品とは何か？ これは作品主義を掲げる博進堂にとって永遠の課題です。受賞された作品は、モデルであり、皆様と共に創る作品づくりの道標となることを願っております。

この度、作品賞を受賞された「めるへん社」の加藤社長より、学校アルバムに対する想いを寄稿いただきました。改めてアルバムづくりの原点を忘れることなく、これからもお客様と共にしっかりと取り組んで参りたいと思いました。



選定基準	①企業理念に適っているか？ ②誰のために、何のために、どのようなものを、創るか明解であること。 ③写真（作品）、編集、造形が美しいこと。 上記基準に照らし、社内審査にて選定。
選定数	数は限定せず、素直に良いと思うものを選定。
受賞記念品	盾と賞状を授与。

アルバム無用論

株式会社めるへん社 代表取締役 加藤隆史

コロナ禍で学校行事が激減し、アルバム制作に様々な問題が起きています。

『学校行事がない』イコール制作困難なのでしょうか。もともと行事頁に頼りすぎたアルバムでは、卒業生の彼らが当時「何を考へどのように行動したのか」を表現するのは難しい事だと思います。

現在のアルバムの礎を創られた藤坂先生は「誰のために」「何のために」「どのようなものを作るか」アルバム制作に携わる人はその目的をしっかりと持つべきだ、と提唱されました。その教えを守る為にも彼らに相応しい『制作テーマ』をしっかりと考え、登校から始まり下校風景までの日常の学校生活を複数日様々な場面を撮影する事により、学生時代のドラマを演出、表現すべきだと思います。

遠い未来にアルバムを開いた時、母校、学年、クラス、個人らしさの記憶を呼び起こし、当時の『自分達らしさ』を彷彿させるアルバムにする事が彼らにとって何物にも代えがたい『宝物』になると思います。動画を採り入れて差別化を図るなど、目先の企画に囚われる事よりも、静止画をきちんと撮影し、編集・デザインした作品創りに取り組む事こそが、私たちの仕事であると思います。本来の制作目的を再考せずに進めば、今後『アルバム無用論』が台頭する事は間違いないでしょう。

藤坂泰介（ふじさかひろすけ） 1912年、広島に生まれる。東洋工業（現マツダ）・企画課宣伝係を経て、ダイコク株式会社・企画室主管を務めた後、岩田写真・社長の紹介により博進堂・企画室長となる。以降、デザイン・教育・経営などすべての面での後進の指導にあたり、博進堂に今も生きる多くのものを残した。著書には『学校あるばむ編集ノオト』あるばむづくり・すたいるぶつくなど。

はくしんどう時間

vol.4

“はくしんどう時間”は
博進堂の“今”をお届けする
ニュースレターです。

おすすめの絵本

やまとことば神話
よく分かる古事記の神々



絵本『やまとことば神話 よく分かる古事記の神々』を発売しました。古事記の神々の名前の由来が分かりやすく語られています。子どもから大人まで幅広い年代が楽しめる、博進堂で今一番おすすめの書籍です。著者の林英臣先生、イラストレーター

の白川一郎さんからメッセージをいただきました。経営戦略本部 長澤利紀

これから日本に原点回帰が起こる。今、大和言葉で記された古事記に注目が集まっている。古事記の冒頭には、宇宙の生成、地球の成立、人間の使命

が描かれている。それを大人と子どもと一緒に読める絵本で表現しようと思いついた。綺麗なイラストで視覚からしっかりと伝わるだろうと。お陰様で素敵な絵本古事記になって嬉しい。

著者 林英臣

古事記の冒頭の素晴らしい宇宙観・世界観を私なりの解釈で創造し表現いたしました。目には見えないけれども確かに存在する「神」という尊在のエネルギーを感じ取っていただき、皆さまのそれぞれの想像力とワクワクを創造する一助になれば幸いです。楽しみです。ありがとうございます。

イラスト 白川一郎

の世界です。印刷によって新しい効果演出する、印刷そのものが美術である。と当時のアートディレクターであった藤坂泰介氏は仰っていました。

博進堂の社屋に掲げてある「ART FACTORY」はこのような想いも含まれています。博進堂においでの際は、社員一人ひとりの中にあるアートファクトリーをお尋ねください。

印刷美術 ～博進堂 高品位印刷～

博進堂の長い廊下には、墨象が2点並んでいるのをご存知でしょうか？左側の作品は、博進堂のシンボルマークの生みの親、津高和一氏の作品（1987年）です。当時は高密度カラー印刷「350線」を開発した年であり、高度な製版技術とオフセット印刷技術により、形にしたものが右側の作品です。

博進堂が提唱する『高品位印刷』は「印刷美術」という概念を基にしています。完全複製することにより同一の印刷物を大量に複写する「美術印刷」とは異なり、「印刷美術」は印刷のメカニズムによって初めて表現される独自

窓口では津高和一氏の
アートハガキを販売中！



技能功労者 表彰受賞 勤続41年目の 星田さん



令和2年11月20日（金）に新潟市にあるホテルイタリア軒にて技能功労者表彰式が行われました。同一職種で30年以上の経験があり、優れた技能を持ち、他の技能者の模範と認められる人（「技能功労者」）に贈られます。博進堂の印刷・生産部の星田さんは今年で41年目。地道に積み重ねられた努力が実を結ばれました。

先輩から受け継いできた 「継続は力なり」

印刷生産部 星田芳広

この度は栄誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。今回の受賞は自分だけのものではありません。「継続は力なり。絶対に逃げない。」という姿勢を教えてくれた先輩方、入社当時から教育に力を入れて成長させてくれた博進堂のおかげです。

今後も、社外活動を通して市民の皆様、印刷・製本の面白さを伝えていきます。そして、専門職の分野でも若い世代の人材が活躍できるようにこれからも務めてまいります。

気になった記事をお聞かせください！

Let me hear

次号の参考にします！



面白かった記事や、気になる疑問点など右記QRコードよりお聞かせください!!投稿していただいた方の中から抽選で博進堂のオリジナルグッズをプレゼントいたします！

※ご当選された方の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

Facebookでも情報発信中！

イベントや博進堂書籍を日々発信中！



博進堂
Facebook



書籍の購入は
コチラ



書籍情報

●本文66P ●220x220mm
●ハードカバー ●フルカラー

